

NBD_デスク取扱説明書

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください
事故防止等安全のため「使用上のご注意」を必ずお守りください
お読みになった後は必ず保管していただき、必要なときにお使いください

取扱注意事項

- 

警告
- 家具のうえに立ったり、とんだり、踏み台代わりに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしないでください。
姿勢をくずし、けがをすることがあります。
- 商品の分解や改造はしないでください。けがや破損の原因になります。
- 家具を移動するときは、落としたり倒したりして、壊したりけがをしないようにしっかり持って運んでください。
- 家具は床面の平らな場所で水平に保つように設置してください。ガタツキのまま使っていると、
家具の強度が落ちこわれたり、けがをする原因になることがあります。アジャスターの調整範囲は10mmです。
- 乱暴な取り扱いや机としての用途以外に使用しないでください。けがや故障・破損の原因になります。
- 家具のうえに加熱したなべ・やかん等を直接置かないでください。こげや変色の原因になります。
- デザイン上家具には突き出たところや角部分があります。この部分にふれるときはけがをすることがありますので、
十分注意してください。
- 

注意
- 高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。
家具の裏側にも空気が流れるように壁から10cm程度離して設置してください。また、十分に部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱・冷暖房機の風が直接家具にあたらないようにしてください。家具がゆがんだり、変色の原因になります。
- 地震等で家具が倒れ、けがをすることがありますので、十分注意してください。

安全荷重



警告

この商品には安全荷重を設けております。
安全荷重を超える過度の荷重を加えますと、
商品が破損したり、思わぬけがを引起こします。
十分注意してお使いください。

商品に偏荷重が加わりますと、商品が破損したり、
思わぬけがを引き起こすことがあります。
十分注意してお使いください。
天板面や引出しへの荷重は平均加重です
1点に集中した荷重はさけてください。

50Kg(490N)均等荷重

50Kg(490N)均等荷重

上中段引出 各8kg

下段引出 15kg

商品仕様

素材および仕上げ	
天板	MDF+PB+MDF フラッシュ構造 メラミン紙コーティング
構造部	エッジ部 PVC スチール
仕上げ	粉体塗装(エポキシメラミン)

日常적なお手入れ

商品に汚れが生じたときは、薄めた中性洗剤を
タオルに湿らせ軽く拭いてください。
その後に軽く水拭し、最後に乾燥したタオルなど
で十分湿気をふき取ってください。

- 

警告
- 取り扱いを誤った場合に死亡または
重傷を負う危険があります
- 

注意
- 取り扱いを誤った場合にけがをしたり
商品が壊れたりする危険があります

平机_部品明細

大部品 明細

各部品が揃っているかご確認ください

天板 1枚

脚 (左右あり)

背面板 1枚

引出 2個
0870引出 1個

配線キャップ
2個

小部品 明細

M6×12
特殊ねじ
2個

M6×55
2個

M6×12
15個

0870 11個

M6ワッシャー
2個

平机_組立方法

商品の組立には＋ドライバー（3番）が必要です

- 

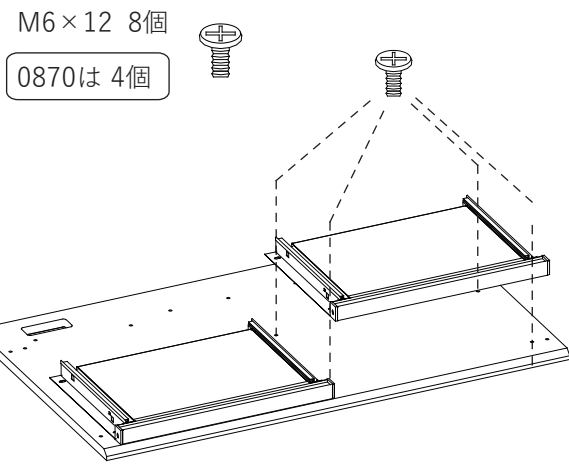
注意

商品の組立には必ず二人以上で行ってください。部品を落としたりして変形させたりけがをする恐れがあります。
商品には、構造やデザイン上尖ったところがあります組立時には必ず軍手などで手を保護してください。
ねじは、仮締め(軽く締める)を行い、すべてのねじを取り付け、最後に本締め（しっかり締める）を行います。

I 天板に引き出しを取り付けます

M6×12 8個

0870は 4個

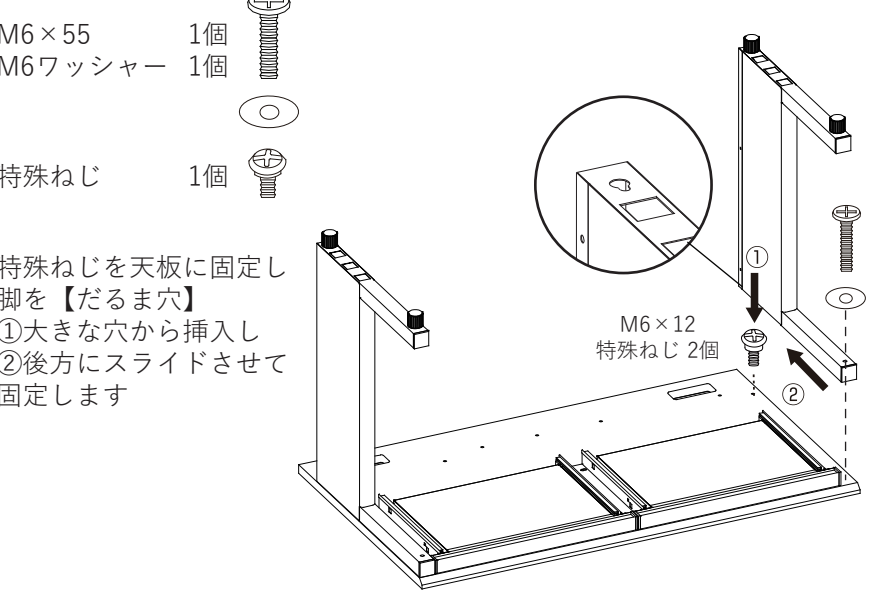


II 天板に脚を取付けます

M6×55 1個

M6ワッシャー 1個

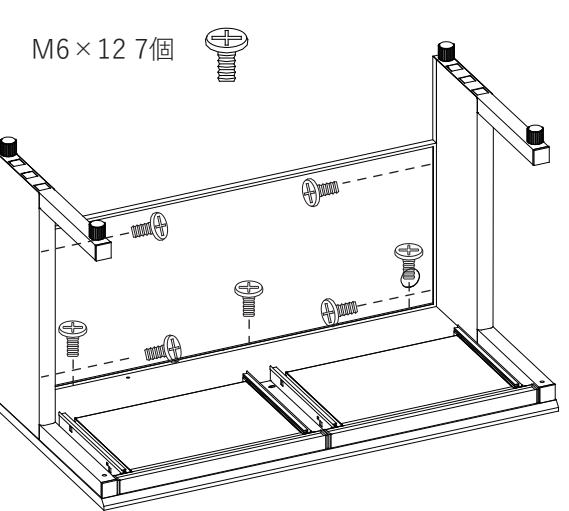
特殊ねじ 1個



特殊ねじを天板に固定し
脚を【だるま穴】
①大きな穴から挿入し
②後方にスライドさせて
固定します

III 天板に背面板を取り付けます

M6×12 7個



IV 机を起こして、配線キャップを挿入します



注意

机を起こすときはワゴンや足の角を支点にして起こさ
ないでください。必ず2人でしっかり持ち上げて回転
させ起こしてください。机が破損します。



完成

片袖机_部品明細

各部品が揃っているかご確認ください

部品 明細

天板 1枚

左脚 1個

引出 1個

1470引出 2個

配線キャップ 2個

ワゴン 1個

鍵 2個

ペントレー 1個

下段仕切り 1個

背面板 1枚

ねじ 明細

M6×12 特殊ねじ 3個

M6×12 蝶ねじ 2個

M6×55 1個

M6ワッシャー 1個

M6×12 11個

1470 15個

片袖机_組立方法

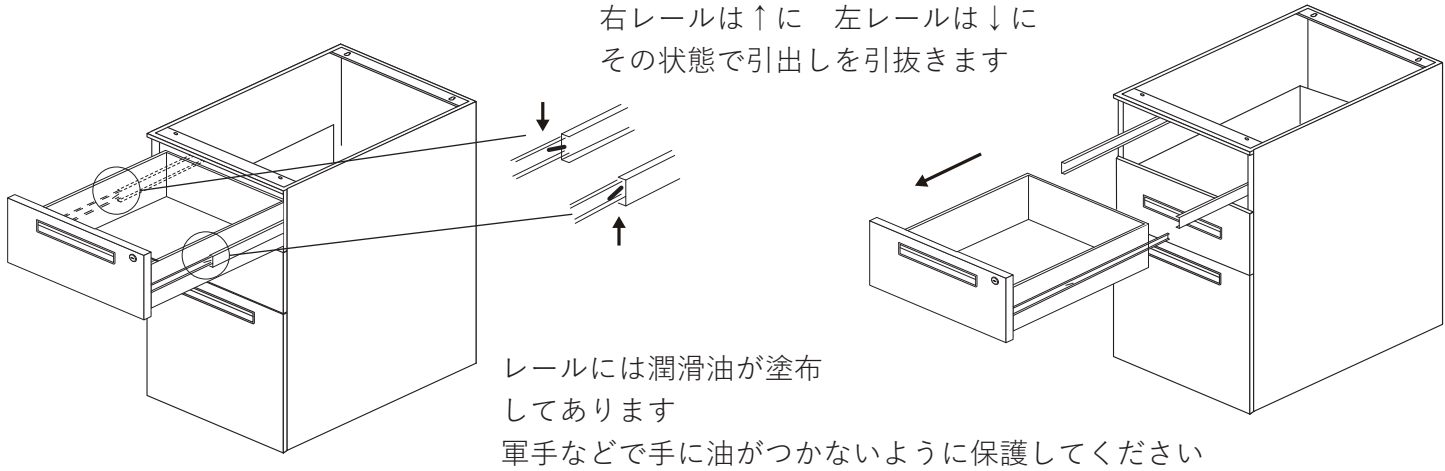
商品の組立には+ドライバー（3番）が必要です

 注意

商品の組立には必ず二人以上で行ってください。部品を落としたりして変形させたりけがをする恐れがあります。商品には、構造やデザイン上尖ったところがあります組立時には必ず軍手などで手を保護してください。ねじは、仮締め(軽く締める)を行い、すべてのねじを取り付け、最後に本締め（しっかり締める）を行います。

I ワゴンの上段引出しを外します

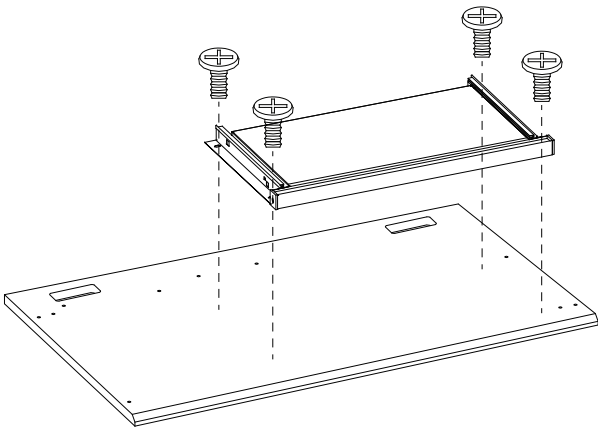
上段引出しを止まるまで引出します
図に示すレールの黒いレバーを上下に押します
右レールは↑に 左レールは↓に
その状態で引出しを引抜きます



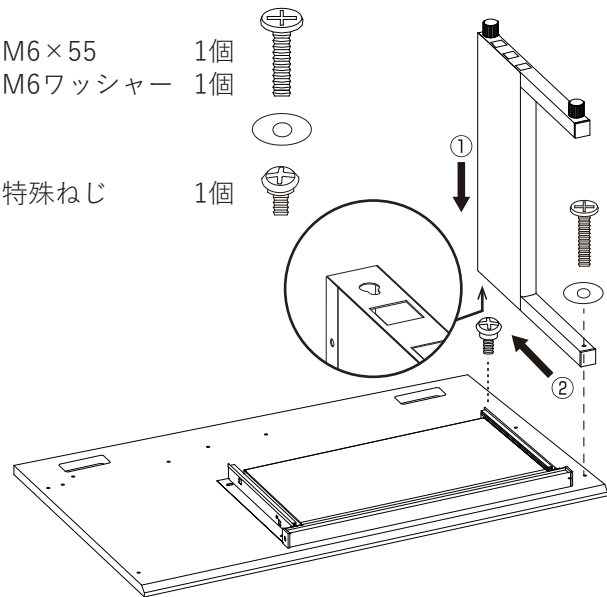
レールには潤滑油が塗布してあります
軍手などで手に油がつかないように保護してください

II 天板に引出しを取り付けます

 M6×12 4個
1470は引出しが2個 ねじが8個です



III 天板に脚を取り付けます

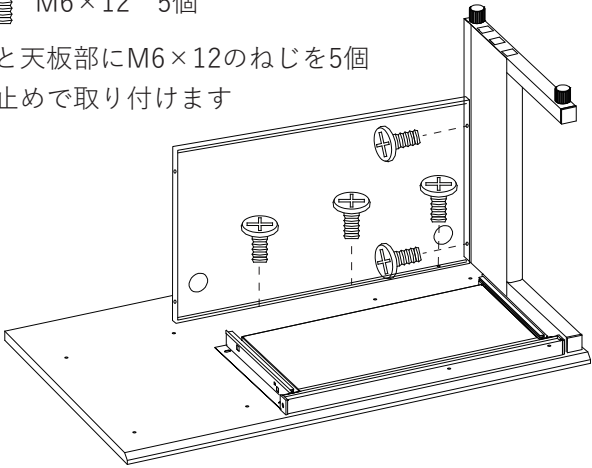


IV 背面板を取り付けます

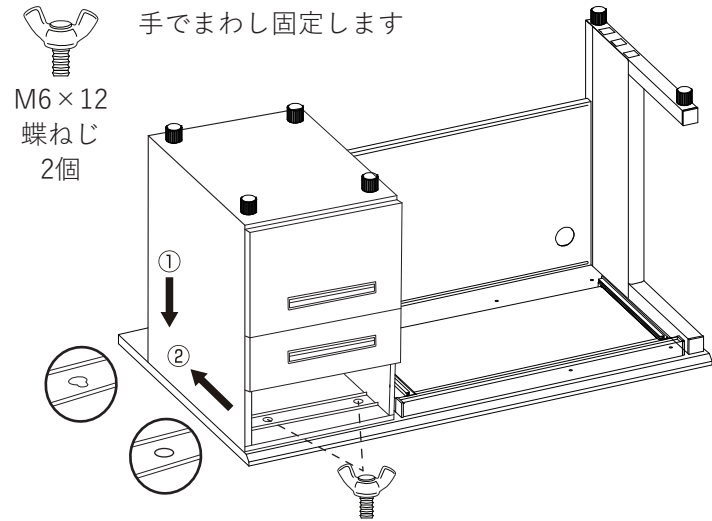
背面板には上下左右があり、大きな穴が開いているほうが天板側で側部分がおり曲がっているほうが内側です

 M6×12 5個

脚と天板部にM6×12のねじを5個
仮止めで取り付けます



V-② ワゴンの【だるま穴】 の大きな穴に、固定したねじ頭を挿入し、ワゴンを後方にスライドします。前方のM6×12 蝶ねじを手でまわし固定します



VII 机を起こして上段引出しを挿入し、配線キャップを挿入します

ワゴンの前方のねじが締まっていることを確認してください

全てのねじをしっかり締めて固定します

 注意

机を起こすときはワゴンや足の角を支点にして起こさないでください
必ず2人でしっかり持ち上げて回転させ起こしてください机が破損します

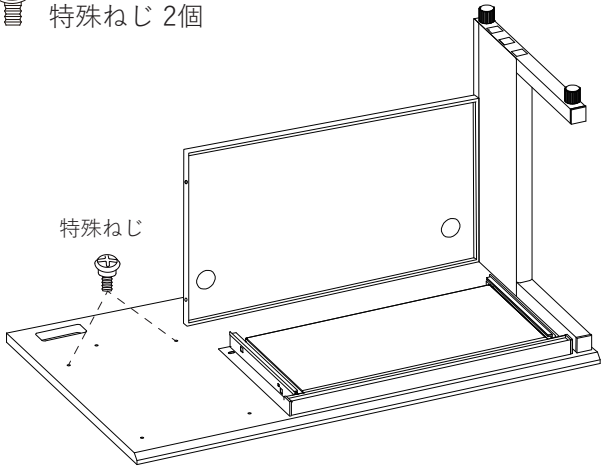
〒108-0073
東京都港区三田 3-2-3 501
株式会社 Y2K
03-6809-5293
営業時間 09:00-18:00 土日祝祭日を除く月～金

都合により一部仕様を変更することがあります

V-① ワゴンを取り付けます

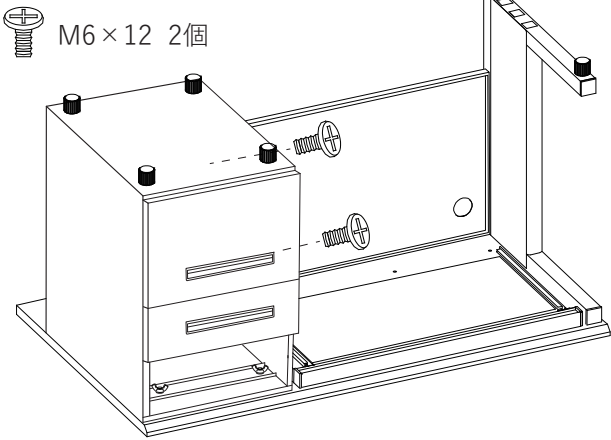
特殊ねじを天板後方に固定します

 M6×12 特殊ねじ 2個

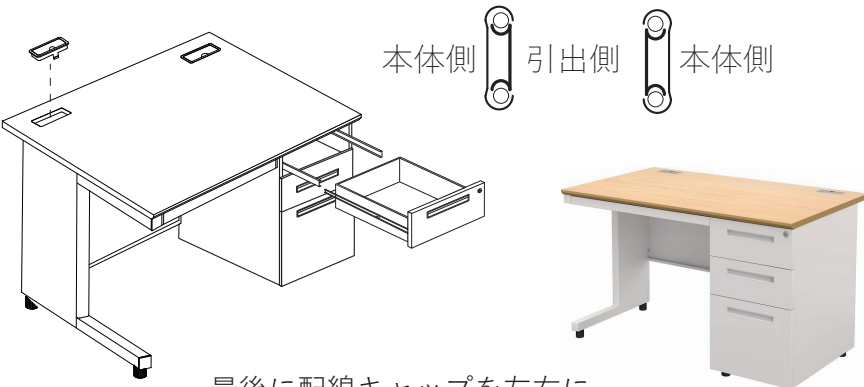


VI ワゴンと背面板を連結させます

背面板ののこり2か所のねじ穴にM6×12のねじを2個とりつけます



I で引出しを外した時と逆に引出しについているレールを本体についているレールに挿入します
下図のようにレールの凹凸に合わせて引出しを押し込みます
少し硬いですが最後まで押し込んでください
引出を完全に押し込むと完全に引き出すを2～3回繰り返します



最後に配線キャップを左右に各1個挿入します引出キャップは少しがたつくように遊びを設けています

完成